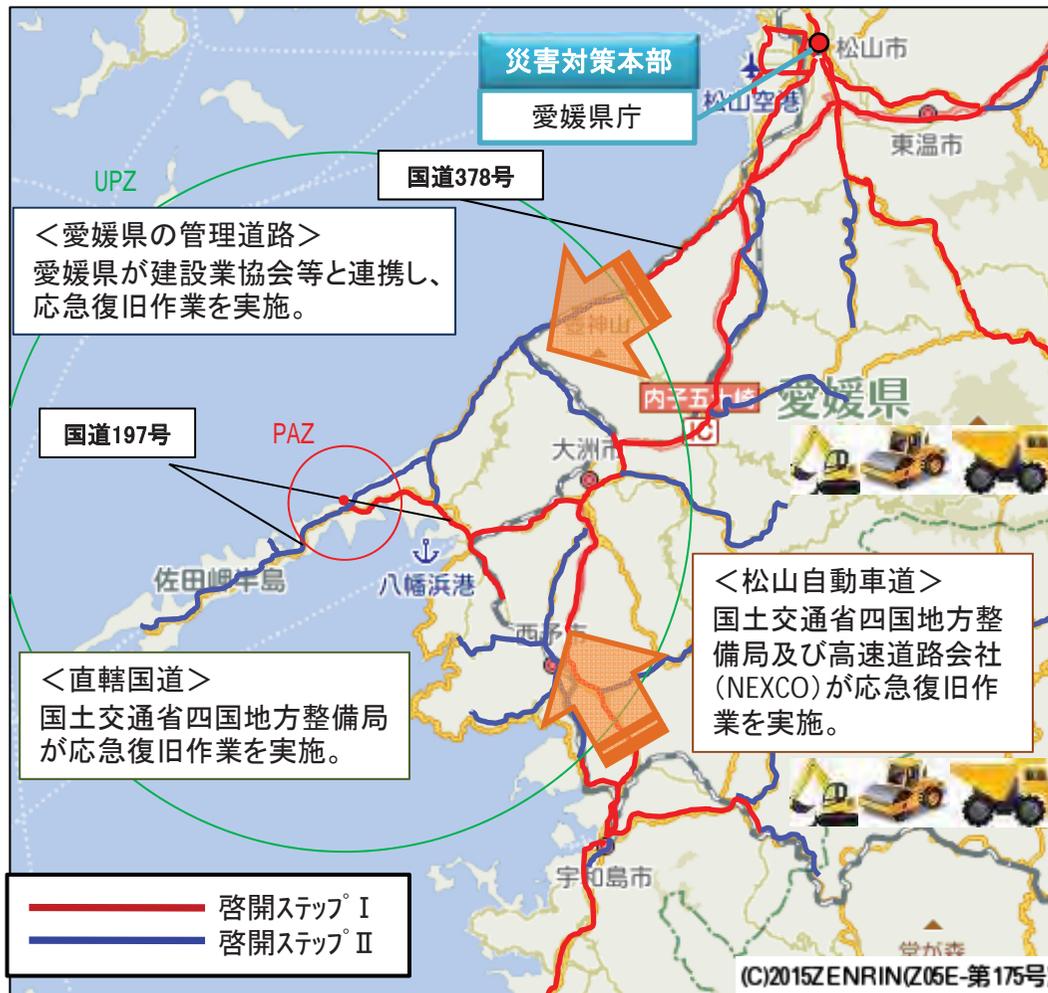


# 自然災害等により道路等が通行不能になった場合の復旧策

避難開始前の段階において、避難計画で避難経路として定められている道路等が自然災害等により使用できない場合は、愛媛県、伊方町<sup>いかたちょう</sup>は、代替経路を設定するとともに、道路等の管理者は復旧作業を実施。

- 「愛媛県道路啓開計画」の啓開優先順位(ステップⅠ～Ⅲ)に基づき道路啓開を行い、緊急輸送道路の確保を行う。
- 直轄国道及び高速道路については、国土交通省四国地方整備局及び高速道路会社(NEXCO)が早急に被害状況を把握し、迅速かつ的確な道路啓開、仮設等の応急復旧を行い、早期の道路交通の確保等に努める。



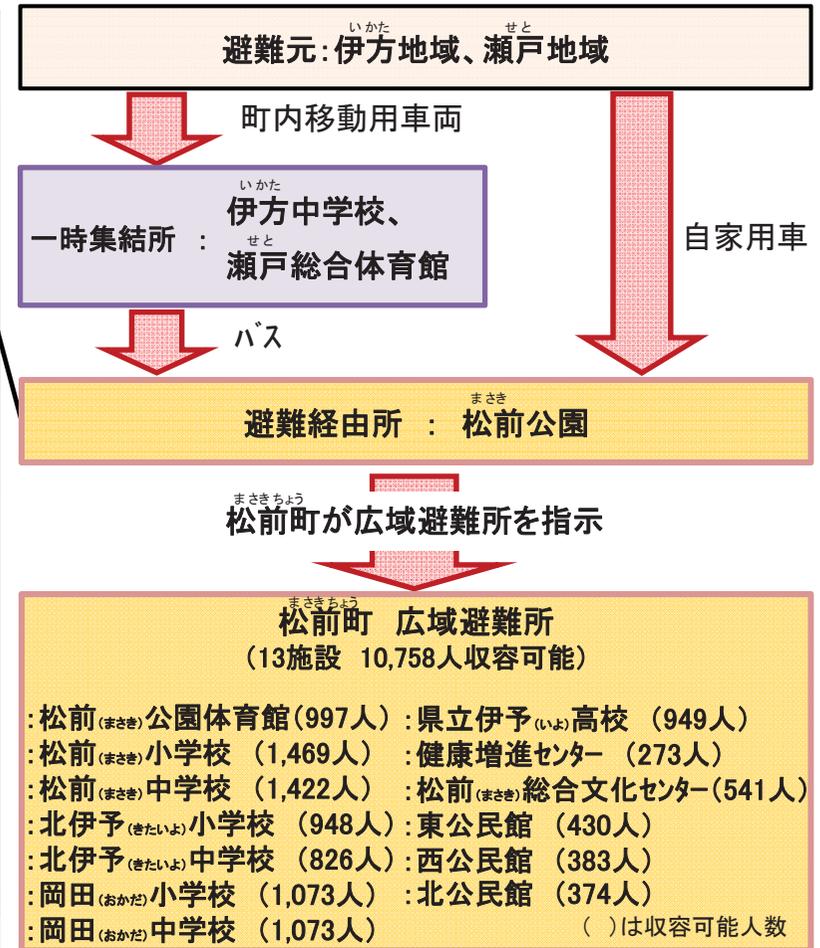
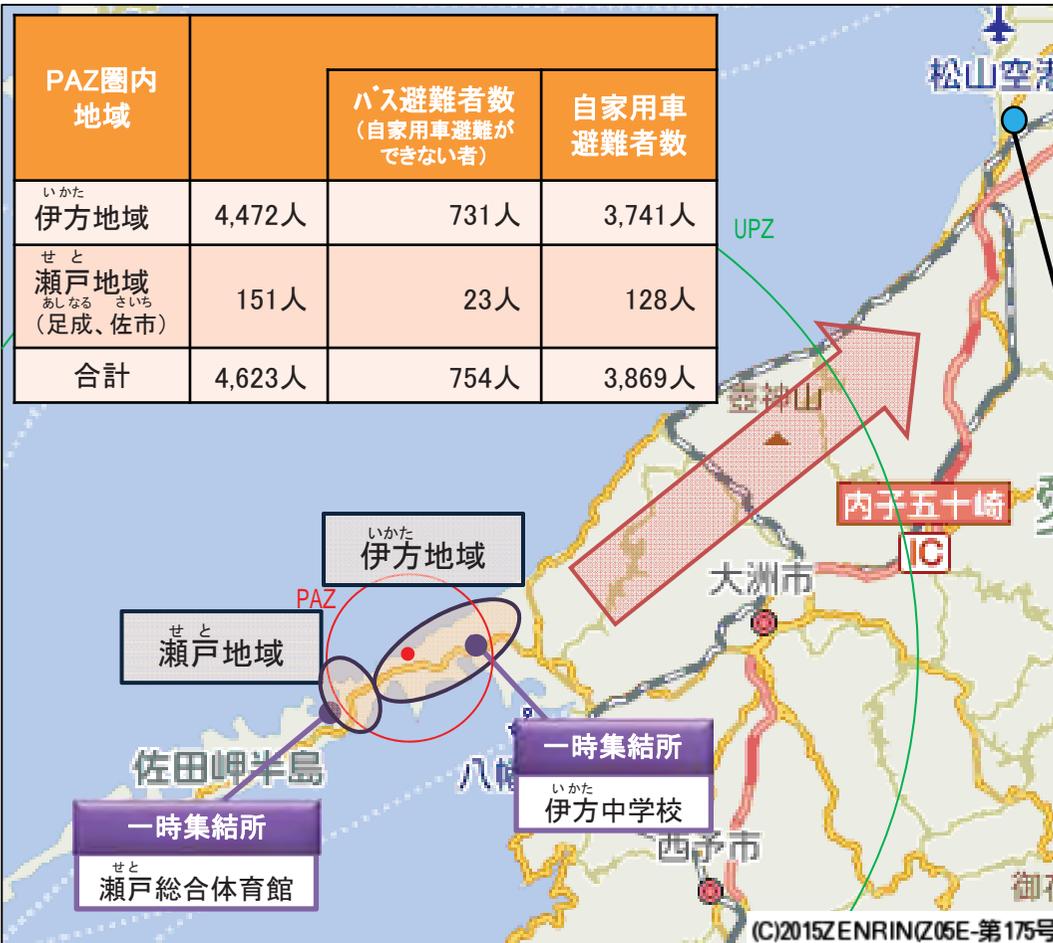
## 5 . PAZ圏内の全面緊急事態 における対応

### <対応のポイント>

1. 自家用車による避難ができない住民の移動手段(バス等)を確保し、避難を開始すること。
2. 避難先施設の受入れ体制を整えること。
3. 安定剤素剤を持っていない者(紛失等)に、緊急配布すること。

# PAZ圏内の住民の避難先及び避難住民数

- PAZ圏内(伊方地域、瀬戸地域(佐市、足成))の住民については、自家用車で避難できる住民は、自家用車により松前町の避難経路所(松前公園)に移動後、松前町の指示する広域避難所に避難。
- 自家用車で避難が困難な住民は、町又は県が配車した町内移動用車両で一時集結所(伊方中学校、瀬戸総合体育館)に集合し、避難経路所(松前公園)へバスで移動のうえ、松前町の指示する広域避難所に避難。
- 避難先については、避難計画に関する住民説明会等を通じて対象となる住民に周知。



※1避難対象者数は、PAZ圏内住民の合計数から割り出した数字であり、若干の増減がある。  
 ※2自然災害等により松前町の避難先が使用できない場合に備え、第2避難先候補として今治市と上島町を設定。

# PAZ圏内の観光客及び民間企業の従業員の数

➤ PAZ圏内の観光施設における1日当たりの入場見込み人数は約940人、民間企業（従業員30人以上）は6社（約220人）存在。

## PAZ圏内の観光施設の状況

地域名	施設数	入場見込人数
いかた 伊方地域	7	938人
せと 瀬戸地域（あしなる、さいち 足成、佐市）	0	0人
合計（7施設）		938人

※入場見込人数については、入場ピーク時（8月）における1日当たりの入場者数を基に算定

観光施設における入場見込人数：平成27年実績

## PAZ圏内の民間企業（従業員30名以上）の状況（詳細）

地域名	民間企業名	従業員数
いかた 伊方地域	西宇和（農協）伊方支店	49人
	伊方建設(有)	32人
	(株)ヒサン水産伊方工場	32人
	(株)みさき果樹園	36人
	(有)町見緑化	33人
	伊方サービス(株)	33人
せと 瀬戸地域（あしなる、さいち 足成、佐市）	該当なし	0人
合計（6社）		215人

※従業員については、通勤に使用する自家用車、バスで避難

企業名及び従業員数：総務省・経済産業省『平成24年経済センサスー活動調査』の調査票情報を基に現地確認を行った上で独自集計したもの

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、合計約850人分：バス20台。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知（施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅）。

	想定対象人数※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	754人	17台	一時集結所にて乗車【資料P32】 1台当り46人程度の乗車を想定
観光施設から避難する一時滞在者	94人	3台	バス1台当り46人程度の乗車を想定 1日あたりの観光施設の入場見込み人数938人のうち、約9割が自家用車や観光バスで来場する想定で、その1割を想定対象人数として算入。 【資料P33】
合計	848人	20台	

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

- 全面緊急事態発生時には、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者のために、伊方町が保有する車両のほか、愛媛県と愛媛県バス協会の協定及び覚書に基づき、バス協会が配備する車両により、必要車両台数を確保。

		確保車両台数		備考
		バス		
(A) 必要車両台数		20台		
(B) 確保車両台数		計20台以上		
確保先	伊方町	3台程度	伊方町が保有する車両10台 (合計138人)の車両を使用	
	愛媛県のPAZ・UPZ圏内市町のバス会社	17台以上	愛媛県のPAZ・UPZ圏内市町のバス会社が保有する車両 総数265台	

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

# 自家用車で避難できない住民の数及び一時集結所への経路等

- 伊方町による全戸訪問調査の結果、PAZ圏内の自家用車で避難できない住民は合計約750人。
- 自家用車で松前町の避難経路所(松前公園)へ避難が困難な住民は、徒歩で各集会所等に集合し、伊方町又は県が配車した町内移動車両で、各一時集結所(伊方中学校、瀬戸総合体育館)へ移動。



※1 高浦(たかほ)地区区長宅は予防避難エリアに位置するため、上表の人数の積算対象外  
 ※2 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値